

清恵会病院整形外科においてこれまでに治療を受けられた方へ

当院整形外科で手術治療を受けられた方を対象に当院での治療経過や治療成績を後ろ向きにカルテ調査を行う研究を行います。

【研究課題】

合併症を有する下肢巨大皮下膿瘍患者に対して内視鏡下デブリードマンを行った治療効果

【研究機関名および研究責任者氏名】

この研究がおこなわれる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 清恵会病院整形外科

研究責任者 矢野公一

担当業務 データ収集匿名化・データ解析

【研究期間】

2025年12月31日まで

【対象となる方】

下肢皮下膿瘍に対して、内視鏡下デブリードマンを行った患者さん

【研究と意義】

下肢の皮下膿瘍は小さいものであれば切開廃膿で対応できますが、大きな病変の場合には切開範囲が大きくなると、創癒合不全、循環不全、新たな感染をきたすリスクが生じます。今回、低侵襲手術として、内視鏡を用いて病変部をデブリードマンし、術後合併症や感染再発を含めた治療効果を判定することが目的です。

【研究の目的】

合併症を有する患者における皮下膿瘍に対する低侵襲デブリードマンの治療成績を評価することが目的です。

【研究の方法】

この研究は、清恵会病院倫理委員会の承認を受けて実地するものです。これまでの診療でカルテに記載されている画像検査、採血データを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱う必要があります。

あなたの採血データや画像データ、病理結果などのカルテ情報・データ等は、解析する前に氏名。住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新たに符号をつけ、どなたのものか分からないようにしたうえで、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

この研究のためにご自分あるいはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただかずか、下記の研究事務局まで2025年12月31日までにご連絡ください。本研究への参加を拒否する旨のご連絡をいただいた場合でも今後の診療において不利益を被ることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定できない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後3年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関して、開示すべき利益相反はありません。

なお、あなたへの謝金はございません。

2026年1月

【問い合わせ先】

清恵会病院整形外科矢野公一住所:堺

市堺区南安井町1-1-1

電話: 072-223-8199 FAX: 0120-34-8199

Eメールでのお問い合わせ: orth099@seikeikai.or.jp.